

第1回繊維産業技能実習事業協議会  
世耕経済産業大臣メッセージ

皆様には御多忙の中お集まりいただき、ありがとうございます。今日は私自らが出席したかったのですが、残念ながら国会対応のために協議会に参加することができません。しかし、どうしても私の問題意識を皆様に直接お伝えしたいと考え、ビデオメッセージの形でお話させていただきます。

皆様も御承知のとおり、外国人技能実習については、繊維業関係、特に縫製業において、最低賃金の不払いや違法な時間外労働をはじめとする、重大な法令違反が数多く指摘されています。各業種別で見ても繊維業関係における不正行為が最も多い状況となっています。

これは、法令違反を犯した個々の事業者の問題であることにとどまらず、繊維業界全体、ひいては日本の製造業全体の信頼に関わる、極めて由々しき事態であると認識しています。

皆様には、こうした事態の解決に向けて、前向きかつ真摯な議論を行って、行動に移していただきたいと思います。

外国人技能実習生を受入れている企業のコンプライアンスの見直しは勿論のことですが、これらの企業に発注される側の企業においても、サプライチェーン全体のコンプライアンスへの配慮や、適正な単価での発注など、取引市場の適正化・健全化にしっかりと責任を持っていただく必要があります。

この協議会を通じて、業界全体で外国人技能実習の適正な実施に向けた改善が図られることによって、繊維業界への信頼が回復されるよう強く期待しておりますし、経済産業省としても、しっかり今後の動きを見させていただきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。